2.6.1 緒言

2.6.1.1 薬理学的特性及び化学構造

フルボキサミン マレイン酸塩（以下，「フルボキサミン」）は選択的セロトニン再取り込み阻害剤であり，成人のうつ病，強迫性障害並びに社会不安障害に対する適応で日本を含め約 110 か国で承認され，その有効性及び安全性は既に十分確立されている。一方，小児の強迫性障害に対する適応は，約 90 か国で承認されているものの，本邦においては承認されていない。本邦の初回承認以来，薬理学的特性及び化学構造に関する情報に変更はない。

2.6.1.2 効能・効果及び用法・用量

【効能又は効果】
強迫性障害
【用法及び用量】
小児への投与：
強迫性障害
通常，8 歳以上の小児には，フルボキサミンマレイン酸塩として，1 日 1 回 25 mg の就寝前経口投与から開始する。その後 1 週間以上の間隔をあけて 1 日 50 mg を 1 日 2 回朝及び就寝前に経口投与する。年齢・症状に応じて 1 日 150 mg を超えない範囲で適宜増減するが，増量は 1 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 25 mg ずつ行うこと。